



2013 年度 特定非営利活動法人キーパーソン 21 事業報告書

【キーパーソン 21 の活動目的】

ひとりでも多くの子どもたちに将来について考えるきっかけを持たせ、視野を広げ社会へ旅立つことの自覚と自立心を促し、夢と勇気をもって、生き生きと自己実現へ向かってすすめる喜びを知ってもらうこと。

【2013 年度の目標に対する成果】

1. 会員数 270 名へ拡大し協力を得ることができた。
2. 大企業、中小企業など 21 社の協力協賛を得て、小中高校生へのキャリア教育を行うことができた。
3. 教員の資質向上を目的とし、小学校一校の教員全員の 29 名への通年のキャリア教育研修を行うという全国でも類を見ない教員への研修を行った。大きな成果が得られ、次年度へ繋がる礎を築いた。
4. 社会の新たな課題として浮かび上がった生活保護受給家庭で育つ子どもや養護施設で育つ子どもなど、教育環境が充分でない小中生へのキャリア教育を行った。また、中高生向けの冊子「応援 BOOK わくわく」を制作するなど、2014 年度以降の事業の大きな柱としていけるよう取り組むことができた。

①小中高校世代に対するキャリア教育プログラムの実施事業

総支出額 10,185,725 円

① -1 プログラム実施

・学校や教育施設などからの要望に応え、32 プロジェクトを学生会員、会員、連携実施企業の協賛協力を得て、約 2,800 名を対象に実施した。

そのうち、「企業の子ども応援プロジェクト」として、港区内の公立中学校 5 校 5 プロジェクト、渋谷区内の公立中学校 5 校 5 プロジェクト、江東区内の公立中学校 1 校 1 プロジェクト、川崎市内の公立中学校 5 校 5 プロジェクトを企業の協賛、会員の協力を得てキャリア教育プログラムを行った。

また、「親子で夢発見プログラム」2 プロジェクトを行った。

川崎市内の生活保護受給家庭の子どもへのキャリア教育においては、高校生の中退予防を目的とし、一人暮らしを想定して未来を考えるプログラムを 2 回行なった。

川崎市健康福祉局と共同企画で「川崎市内 2000 名の中中生へ「未来応援 BOOK わくわく」を制作し、2014 年 4 月 1 日より市内福祉事務所のケースワーカーにより配布されている。

川崎市内の養護施設川崎愛児園で育つ子どもへの「夢！自分！発見プログラム」を NKK シームレス鋼管株式会社の企画により行なった。

また、おもちゃのジェンガの発明者レスリースコットさんの女性の生き方を伝える講演を私立洗足学園中学校において、「おもしろい仕事人がやってくる！」として講演を開催した。

【実施校】港区立朝日中学校、港区立六本木中学校、港区立高陵中学校、港区立港南中学校、港区立赤坂中学校、渋谷区立上原中学校、渋谷区立広尾中学校、渋谷区立代々木中学校、渋谷区立笹塚中学校、渋谷区立原宿外苑中学校、川崎市立臨港中学校、川崎市立南大師中学校、川崎市立高津中学校、川崎市立田島中学校、川崎市立京町中学校、川崎市立平中学校、川崎市立御幸中学校、江東区立辰巳中学校、川崎市立浅田小学校、川崎市立小田小学校川崎市立川崎高校定時制、横浜デザイン学院、川崎市内の生活保護受給家庭の高校生、私立山村学園高等学校、川崎市内の生活保護受給家庭の高校生、私立洗足学園中学校、品川区立日野学園 PTA、港区男女平等参画センターリーブラ、かごしま子ども夢大学、社会



福祉法人川崎愛児園

① -2 プログラム研修

教育現場に入る前の研修として、一般を対象に8回13日にわたりファシリテーター養成講座を開催。申込者249名、参加者のべ229名で、前年比1.7倍となった。企業11社を対象に13回開催した。

① -3 協賛企業開拓

プログラム実施に協力いただける協賛企業・法人会員として、9社に協賛協力いただいた。連携実施企業として12社から協賛企業として協力支援を受けた。

【企業名】

株式会社イントリーグ、株式会社WOWOW、日本コカ・コーラ株式会社、SAP ジャパン株式会社、特定非営利活動法人全国異業種グループネットワークフォーラム、ノバルティスファーマ株式会社、北浜こどもクリニック、コストコホールセールジャパン株式会社、スカパーJSAT 株式会社、日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社、株式会社高齢社、エヌケーケーシームレス鋼管株式会社、株式会社アルバイトタイムス、富士通株式会社、アイエスエフネットグループ、北之台雅楽会、東京 JAPAN 税理士法人、NPO 法人いわてキャリアコンサルタント研究会、株式会社全教研、株式会社カヤバ、株式会社ママハピ

- ・営業ツールの整備をし、「企業の子ども応援プロジェクト」として港区、渋谷区、江東区、川崎市を中心に、拡大し営業活動を行い、新規に7社の協賛を得た。
- ・実施プログラムの記事を作成し、広報ツールを充実させることでさらなる誘致活動につなげた。
- ・実施前のホームページ上、facebook を活用した告知、および終了後の同ツール等を活用した迅速な実施報告により、丁寧な認知活動を継続した。また、2014年2月28日は、キーパーソン21の日！「NPOと企業の協働を考える～一人ひとりを生かす教育。企業の教育CSRへの期待～」を実施し、連携企業のご担当者から企業連携事例の発表をいただき、70名以上の来訪者と直接コミュニケーションすることで理解を深めた。このような活動から、企業のCSRや社外活動の協働つなげられるよう、営業、広報ツールとコミュニケーションの向上を継続している。

【企業の子ども応援プロジェクト】

	学校名	実施日	協賛企業・団体
1	港区立朝日中学校	2013. 7. 9	辻 研介 氏 (JICA 独立行政法人国際協力機構)
2	港区立六本木中学校	2013. 7. 12	ノバルティスファーマ株式会社
3	港区立港南中学校	2013. 12. 13	スカパーJSAT 株式会社
4	港区立高陵中学校	2013. 10. 31	SAP ジャパン株式会社
5	港区立赤坂中学校	2013. 12. 14	株式会社WOWOW
6	渋谷区立上原中学校	2013. 9. 18	堀 悟 氏 (株式会社電通/電通レイザーフィッシュ)
7	渋谷区立広尾中学校	2013. 10. 30	ノバルティスファーマ株式会社
8	渋谷区立代々木中学校	2013. 11. 8	永江 耕治氏 (株式会社エーピーコミュニケーションズ 執行役員)
9	渋谷区立笹塚中学校	2013. 11. 28	本間 直人氏 (NPO 法人 国際ファシリテーション協会理事)
10	渋谷区立原宿外苑中学校	2014. 2. 28	日本コカ・コーラ株式会社

1 1	川崎市立臨港中学校	2013. 5. 30	コストコホールセールジャパン株式会社 株式会社高齢社
1 2	川崎市立南大師中学校	2013. 6. 25	株式会社イントリーグ
1 3	川崎市立京町中学校	2013. 12. 19	五江渕 篤志 氏 株式会社アイエスエフネット執行役員
1 4	川崎市立田島中学校	2013. 12. 10	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
1 5	川崎市立高津中学校	2013. 7. 18	北浜こどもクリニック
1 6	江東区立辰巳中学校	2014. 3. 4	株式会社 WOWOW

① -4 プログラム開発

・これまで13年間にわたり開発してきたキャリア教育プログラムが、より広がってALL JAPANで子どもを育てるために子どもだけでなく大人が学ぶプログラムとして開発が進んだ。

高校生世代対象

- ・生活保護受給家庭で育つ高校生を対象として「一人暮らしゲーム」をモディファイした形で再開発した。
- ・大学生が高校生へ行うワークショッププログラムを大学生会員が開発した。

教員対象

- ・教員向けのキャリア教育研修プログラムを開発した。

企業向け

- ・「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」を子どもに実施するための企業研修プログラムを整備した。
- ・企業が開発するプログラムへのアドバイスをを行った。
株式会社博報堂 H-CAMP 6種類、南日本リビング新聞社 かがしま子ども夢大学、神奈川県男女共同参画プログラム開発

シニア世代対象

- ・シニア向けプログラムをコミュニティビジネスの起業に至る一連のシリーズセミナーとして整備した。

② プログラム普及啓発

総支出額 893,474円

②-1 プログラム普及

- ・パートナー事業として、既存パートナーの管理・対応、発展のサポートを行なった。
株式会社全教研、NPO 法人いわてキャリアコンサルタント研究会
- ・「夢！自分！発見プログラム」のファシリテーター認定制度を継続し、認定委員会を開催（9月，3月）。
（認定委員は、教育関係者、高校教員などキャリアに関する有識者。）
のべ15名が1級ファシリテーターとして活動した。

③ -2 広報活動

- ・既存のWebサイト、メールマガジン、学生ブログ および 代表ブログ、twitter、facebook、チラシといった媒体、また新たに制作したパンフレットを使用して、ファンドレイジング強化、会員数増大と会員の帰属意識向上という活動目標に基づいて広報活動を行った。



- ・ネット PR の強化、
- ・プレスリリースの活用
- ・メールマガジン配信、通常号：月 1 計 12 回、特別便：随時計 24 回)、特別便は、チャリティカレッジ、キーパーソン 21 の日！、ファシリテーター養成講座等の告知など配信。
- ・twitter：688 フォロワー、facebook：1,319 いいね！（2014 年 4 月 6 日現在）で運用中。
- ・プログラムレーターを実施プロジェクトごとに作成、配布。
- ・NPO 法人サービスグラントの協力を得て新しいリーフレットを作成。

・メディア掲載 10 社

2013/6/1	かわさき市政だより 2013 年 6 月 1 日号	NPO と豊かな地域づくりを
6/17	alterna S (Web サイト)	チャリティーカレッジ「子どもたちの明るい未来のために～若者の自殺と自立を考える～」 若者の社会貢献思考の裏側を説く——香山リカ
7/2	東京新聞 地域情報欄「川崎」	あなたも誰かのキーパーソン（事務局スタッフ清水）
7/23	岩手日報 朝刊	大人と会話、職場の体験
10/1	alterna S (Web サイト)	チャリティーカレッジ「子どもたちの明るい未来のために～若者の自殺と自立を考える～」 茂木健一郎、脳科学で自殺を分析
12/26	ducare デュケレ vol.18 日本経済新聞出版社	大特集 家庭で行うキャリア教育がカギ 「子どもの”好き”や興味を職業に結び付けるメソッド」
2014/2/20	毎日新聞 夕刊	NPO 採用新卒に照準
2/22	神奈川新聞 地域情報欄「川崎」	認定 NPO 法人キーパーソン 21
3/21	東京新聞 WEB (Web サイト)	貧困の連鎖 防ぐ一冊に 生活保護受給世帯の中高校生向け
3/25	読売新聞 地域情報欄	生活保護受給世帯 中高生向け進路情報誌

・講演は 6 回／他、教員研修

2013/6/11	学生団体 GUJ (GET UP JAPAN)	次世代育成サミット ～出る杭を伸ばす教育～
7/22	平成 25 年度 第 2 回進路指導担当研修会 (東京中野区)	自己肯定感を高めるキャリア教育
10/15	高千穂大学びじこみ講座 2013	「女性リーダーに学ぶ」～進化するビジネス、コミュニティ、アントレプレナーシップ～
11/9	東京 O'CDA	小中高校生を中心としたキャリア教育～その取り組み
12/6	川崎高校市立川崎高校	教員研修
2014/2/20	キャリア教育研究発表会 (足立区立六木小学校)	パネルディスカッション

③社会参加支援事業

総支出額 1,554,560 円

③-1 大学生への社会参加支援事業

- ・プログラム実施プロジェクトの運営を、学校実施プロジェクト 23 プロジェクト、学校外実施プロジェクト 4 プロジェクトを運営した。
- ・大学生による新規の「高校生対象のプログラム」を実施した。
- ・学生会員の募集説明会を 3 回、ミニ説明会を 7 月～9 月に随時開催し、8 名が新規入会した。
- ・学生の活動を〔事務局学生スタッフ〕〔学生チームコアスタッフ〕〔一般学生メンバー〕の 3 区分と



し、学生自身が活動の程度を選べるようにした。学生会員ミーティングは1回/週開催した。

・2010年より行なっている就活サポートは、2013年度4年生の学生2名を対象に5回行った。1名は大学院へ進学、1名は就職。

2014年度4年生（2015年入社予定）の学生5名を対象に、「仕事を知る」「自分を伝える」「面接練習」などをすでに10回以上のサポートを行なっている。

・2013年度学生会員数25名（3月末7名が卒業し社会へと巣立った）。

③-2 大人からシニア世代の社会参加支援事業

川崎市役所労働雇用部からの委託により、シニア向けセミナーを二回開催した。

第一回 9月14日：得意なもの、好きなものを活かしての社会参加を促し、フォロー会では、それがコミュニティビジネスとなるか、社会環境等をディスカッション。

第二回 10月26日：ガイダンスの後コミュニティビジネスプラン作成という一連のプログラムとして実施。

③-3

「キーパーソン21の日！」を毎月21日（4、7、9月のみ20日。11月はプログラム実施日の関係で中止。）に11回開催し、延べ330名の会員及び一般が参加。学生・スタッフによる活動報告や会員に「おもしろい仕事人」としてお話をいただく会、会員の知財を生かしたワークショップを開催した。

2014/3/21	卒業生の社会への旅立ちを祝う会
2014/2/21	「子どもたちの未来を考える ～粒ぞろいより、粒違い。～博報堂が目指す教育CSRから～」
2014/1/21	新年会を兼ねて活動のご報告
2013/12/21	活動ご報告（山村学園プロジェクト、企業の子どもプロジェクト）&”望”年会
2013/10/21	「ライフプランニングの可能性を考える～お金の大切さを子どもたちにいかに伝えるか～」 ワークショップ
2013/9/20	「コーチングで人のよいところを引き出す」ワークショップ
2013/8/21	ズバリ！人事採用担当者・経営者100人のホンネ
2013/7/20	～Diversity Inclusion について理解を深めるために～ビジネスにおける Diversity & Inclusion とは？なぜ必要か？
2013/6/21	～Diversity Inclusion について理解を深めるために～多様な人とのコミュニケーションのこつ
2013/5/21	～Diversity Inclusion について理解を深めるために～Diversity を体験しよう！
2013/4/20	～マインドマップ®で自分のキャリアを考えよう～

・「チャリティイベント」を資金確保、会員活動促進、会員の学びの場の提供を目的とし、香山リカ、茂木健一郎、ナマラエンターテイメント江口歩氏、月乃光司氏、アイエスエフネットの渡邊幸義氏の協力を得て、2回開催した。

6月15日テーマ「自殺しない心、自立したくなる心」

9月28日テーマ「自殺しない脳、自立したくなる脳」

・「子どもの未来を創造する起業講座」を開催した。11月1日～12月19日の全8回